

## 新着図書から こんにちは 秋の夜長はエッセイ



エッセイとは！書き手が自分の体験や見聞きしたこと、思うことを自由に書き綴った文章のこと。読書感想文で苦しんだから、もう本は読まなくていいと思っている人！エッセイは君のものである。



『九十歳。何がめでたい』

佐藤 愛子

いま最も勢いのある本が、とうとう庄農に上陸を果たしました。なぜ、九十代女子の怒りが人々のハートをつかむのか、知りたくありませんか？



『風とともにゆとりぬ』朝井 リョウ

「読んで得るもの特にナシ!!」と本のオビにはありますが、チャラさと真面目さを両立させて生きている人の体験から得られるものは、決して少なくないと思います。



『女の子が生きていくときに、覚えてほしいこと』

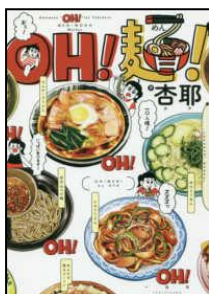
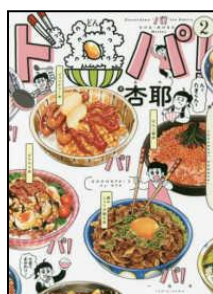
西原 理恵子

最低な状況におかれたとき、腐らずに立ち上がる方法。著者は自身の半生をもって教えてくれます。



『いつか別れる。でもそれは今日ではない』F

著者がTwitterで発信する文章を読む人が十数万人もいるとのこと。書き手の顔が見えなくても、言葉が人を引き付けるのかもしれない。



『ド井パ!』 『ド井パ!(2)』 『OH! 麺!』

杏耶

食品サンプルのように緻密な絵が目を引く、コミックエッセイのシリーズです。著者の杏耶さんは、山形のご出身だとか。県人の活躍が熱いですね。

このシリーズの魅力は、作る過程に喜びがあふれていること。井ひとつ作るにしても、楽しんでやること、何よりも胃に優しいのだと教えてくれます。

### \* 未返却図書返却のお願い \*

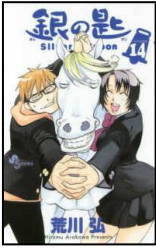
夏休み前に借りた本をまだ返していない人が少なくない状況です。

テストが終わったら、督促状を発行する予定です。思い出したらすぐに返却してください。

もしも紛失した場合には、必ず断りにきてください。



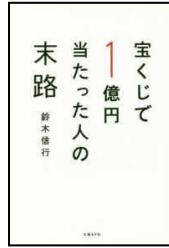
# 新着図書案内



『銀の匙 (14)』

荒川 弘

お待たせしました！  
最新刊です。  
図書館の中で読んでくださいね。



『宝くじで1億円当たった人の末路』

鈴木 信行

人生で一つの「選択」をした後、  
どんな「末路」が待ち受けている  
のか、専門家に聞いてみた！



『農家が教える 梅づくし』

梅干しだけじゃない！  
梅の楽しみかた大全



『高校図書館デイズ』

生徒と司書の本をめぐる語らい』

成田 康子



『これを知らずに働けますか？』

学生と考える、労働問題  
ソボクな疑問 30』 竹信 三重子



『「いじめ」や「差別」を

なくすためにできること』 香山 リカ

なぜ差別やいじめは起きるのか、  
どうしてダメなのか、そこから考える。



『天久鷹央の推理カルテ』

知念実希人

天才女医・天久鷹央(あめくたかお)  
が活躍する、医療ミステリー。



『月の満ち欠け』 佐藤 正午

欠けていた月が満ちるとき、  
喪われた愛が甦る。  
第157回直木賞受作。



『敗北を力に！ 甲子園の敗者たち』

元永 知宏

甲子園で激闘を演じ、最後に敗れた  
球児たちの「その後」を追いかける。



『世界に通じるマナーと

コミュニケーション

つながる心、英語は翼』

横手尚子、横山カズ



『マンボウのひみつ』

澤井 悦郎

著者の熱意から誕生した、  
日本初の〈一般向け〉マンボウ本！



『漱石先生の手紙が教えてくれたこと』

小山 慶太

夏目漱石が書き残した、  
手紙を読み解き、その横顔に迫る。



『特高に奪われた青春』

エスペランティスト斎藤秀一の悲劇』

工藤 美知尋



『枕草子のたくらみ』

「春はあけぼの」に秘められた思い』

山本 淳子